

令和6年度看護管理者向け課題解決型研修 実施要項

1. 開催の趣旨と目的

世界中が大きな変化の波に飲み込まれる中、保健医療機関は、さまざまな対応を迫られました。これを機に、当センターでは、従来の集合型の研修形態を見直し、令和3年度から、参加者相互のピア・コンサルテーションを主体とした課題解決型研修へと大幅にリニューアルいたしました。ピア・コンサルテーションとは、利害関係のない研修参加者が、相互に刺激し支援し合いながら、自組織や自身の課題を俯瞰的に見つめなおすことを指します。

看護管理者向け課題解決型研修は、解決したい組織課題を持ち、看護の目的（対象者が自ら力を発揮しながら望む場所で生き、生活することを支援する）を共有している看護管理者を対象とし、すべてオンラインで行う、出力型の研修です。

研修では、看護管理者がグループを形成し、相互に刺激し、支援し合いながら、自組織や看護者自身の課題を俯瞰的に見つめなおす機会を提供します。そして、看護の対象者や家族・スタッフ看護師・看護管理者・他職種・所属組織・地域それぞれの力を発見し、それらが最もよく発揮された調和的な状態（ありたい姿・目標像）を思い描き、その目標に向かって課題を解決する方略を検討し、実行するプロセスを支援します。さらに、研修の成果とプロセスにおける看護者自身の発展を共有する機会を提供します。

この時代の変革期に、全国の仲間とともに、自組織や自身の課題解決に自律的に取り組む意思のある看護管理者の方々のご参加をお待ちしております。

なお、当センターでは新たに「次世代育成力の強化をめざす看護系大学教員向けレベル別FD研修」を開催することとなり、令和6年度は受講対象者、定員を絞っての開催となります。

例年大変ご好評をいただいているところではございますが、受講いただいた方の更なる満足度の向上を目指して参りますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

2. 主催・実施

看護学教育研究共同利用拠点

千葉大学大学院看護学研究院附属看護実践・教育・研究共創センター

3. 研修期間

受講決定より令和6年度末まで。希望により年度単位での更新可能。

《研修スケジュール》

- ・令和6年5月10日（金）：受講決定
- ・令和6年6月4日（火）：オリエンテーション、第1回グループミーティング
- ・令和6年7月～令和7年1月：第2回～第4回グループミーティング
- ・令和7年2月18日（火）：成果報告会

4. 研修内容（詳細は、別紙1参照）

・研修期間中に4回の研修参加者同士のオンライン・グループミーティングを行い、2月に成果報告会を開催します。グループミーティングでは、お一人ずつ10～15分程度テーマにそった発表と、メンバー同士でのピア・コンサルテーションを行います。

・グループは応募者調査票を元に当センターで決定します。

・グループミーティングの日程は、勤務の都合等を勘案し、グループごとにメンバーの都合に合わせて決定します。ただし、「初回オリエンテーション・第1回グループミーティング」「成果報告会」は下記の日程で行います。こちらには必ず参加いただけますようお願いいたします。

《初回オリエンテーション・第1回グループミーティング》

開催日：令和6年6月4日（火）

・オリエンテーション（全グループ共通） 9:15～ 9:30

・第1回グループミーティング（グループにより開始時間が異なる）9:30～2時間半程度

《成果報告会》

開催日：令和7年2月18日（火）9:30～ ※時間は受講生の人数等によって変更の可能性があります

・グループミーティングでは、当センター教員および当センターが委嘱した支援教員がファシリテータとなり、グループメンバーが相互に刺激し、支援し合いながら、自組織や看護者自身の課題を俯瞰的に見つめなおす機会を提供します。そして、看護の対象者や家族・スタッフ看護師・看護管理者・他職種・所属組織・地域それぞれの力を発見し、それらが最もよく発揮された調和的な状態（ありたい姿・目標像）を思い描き、その目標に向かって課題を解決する方略を検討し、実行するプロセスを支援します。さらに、研修の成果とプロセスにおける看護者自身の発展を共有する機会を提供します。

・研修期間中は、当センター教員および当センターが委嘱した支援教員によるメール、電話等による個別相談が受けられます。

・当センターがこれまでに開発したワークシートやモデルが利用できます。また、オンデマンドコンテンツ、前年度受講生の成果報告動画、他のグループの成果発表の概要は、受講者限定で閲覧可能とします。

5. 受講対象者

解決したい組織課題を持ち、看護の目的（対象者が自ら力を発揮しながら望む場所で生き、生活することを支援する）を共有している看護管理者（病院、訪問看護ステーション、保健所・保健センター等の組織の看護部門の長やその補佐を担う者 例：副看護部長・中央部門の看護師長など）を募集します。

所属施設の看護部門の長の推薦を受けた者とし、同一施設から、複数名参加される事は可能ですが、同一グループになる事はございません。オンライン・グループミーティングに参加できる方に限ります。

6. 受講定員

20名（研修は、1グループ4～5名でグループを編成し、実施します）。定員を超えるご応募があった場合は、取り組みたいと考えている課題の明確さ及び緊急性、組織全体・社会への波及効果、課題解決に向けた準備状況等を総合的に勘案し、採否を決定させていただきます。

7. 応募方法 web 申込みとなります

(1) 本センターホームページ (<https://www.n.chiba-u.jp/center/>) の看護管理者向け課題解決型研修申し込みフォームより令和6年4月17日(水)までにお申込みください。

(2) お申込みには、併せて「応募者調査票（別紙2）」のご提出が必要となりますので、当センターホームページよりダウンロードの上、必要事項を漏れなく記入してください。

8. 決定通知

受講者の採否については、令和6年5月10日(金)までに、応募者本人にメールにて通知させていただきます。

9. 研修システム利用料（受講料）

1名につき、80,000円（消費税を含む。）

受講料及び本研修の受講にあたり必要となる設備費等は、派遣施設もしくは受講者の負担とします。

10. 修了証書

研修修了者には、千葉大学大学院看護学研究院より修了証書を授与します。

11. 注意事項

(1) 受講料の返金はいたしません。

(2) 大規模な地震・風水害・降雪・事件・事故・疫病等により、研修の開催が困難であると主催者が判断した場合、全てあるいは一部のプログラムを中止することがあります。この場合、受講料の返金はいたしません。

12. 個人情報の取り扱い

申込みに際し提出された「応募者調査票」等に記載の個人情報については、看護管理者向け課題解決型研修業務及びセンター年報への名簿掲載のために利用し、それ以外の目的に利用することはございません。課題解決のプロセスのデータとさせていただく場合は、別途、提供許諾を依頼いたします。

13. お問い合わせ先

(1) 本研修内容に関する問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究院附属看護実践・教育・研究共創センター長 和住淑子

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL : 043-226-2471 FAX : 043-226-2471

E-MAIL : wazumi@faculty.chiba-u.jp

(2) 研修内容以外の事務的な問い合わせ先

千葉大学亥鼻地区事務部総務課総務第三係（センター研修担当）

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL : 043-226-2464 FAX : 043-226-2382

E-MAIL : kango-cqi@chiba-u.jp

【以下のような課題を抱えている看護者にお勧めします（課題と課題解決の方略の例）】

抱えている課題の例	課題解決の方略の例
<p>〔例〕</p> <p>病院内での内服薬の服薬事故が相次ぎ、対応策の立案を迫られた。看護師の服薬管理を徹底するため、配薬カートの整備を行いたいが、どのようにそれを推進すればよいか。</p>	<p>病院内の服薬事故事例を改めて分析したところ、その多くは、退院後も自宅で内服を継続する高齢者であったことが判明した。配薬カートの整備ではなく、病棟薬剤師と連携して、入院時に使用する服薬アセスメントシートを作成し、入院中から退院後にも患者自身が内服管理を安全に実施できる継続した支援の仕組みづくりを行った。</p>

研修内容（グループ・ミーティング）の詳細

回数（時期：予定）		グループミーティングのテーマ
第1回（6月4日（火））		オリエンテーション 第1回グループミーティング ・メンバー自己紹介 ・解決したいと考えている組織課題の紹介 ・ピア・コンサルテーション
第2回 （8月頃）	7～1月	・看護の対象者・スタッフ看護師・看護管理者・所属組織・地域それぞれの力を発見し、それらが最もよく発揮された調和的な状態（ありたい姿・目標像）を思い描く ・目標像に向かう上で自組織が持っている潜在的な力の発見 ・目標に向かって課題を解決する方略の検討 ・ピア・コンサルテーション
第3回 （10月頃）		・目標実現に向かう実行プロセスの報告 ・方略の修正 ・ピア・コンサルテーション
第4回 （12月頃）		・目標実現に向かう実行プロセスの報告 ・取り組みの結果得られた反応や成果 ・新たに見えてきた自組織が持っている潜在的な力 ・方略の修正 ・ピア・コンサルテーション
成果報告会（2月18日（火））		・プロセスにおける看護者自身の発展の報告 ・ピア・コンサルテーション

*第1回～第4回では、お一人ずつ10～15分程度テーマにそった発表と、メンバー同士でのピア・コンサルテーションを行います。